

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
オンライン読書会を開催しています。



★ テキスト・テーマ：

- ① 日本の中高年の性：日本性科学学会の調査
- ② コロナ離婚回避する夫婦が実践する 3 つの会話：東洋経済オンライン
- ③ 米国版人生相談：夫婦問題
- ④ 瀬戸内寂聴の生き方

★ 参加者：9名 (女性6名、男性3名)

★ 参加者の感想

阿佐ヶ谷婦人公論読書会は長谷川理事長の発案で 2018 年 12 月の第 1 回を皮切りに、既に 3 年継続して 30 回以上が開催されてきている。テーマは一貫して「結婚の現実の中でも、なんとか「添い遂げる」工夫を学び、創出すること」。



読書会が始まったばかりの頃、ぼくは、この会には、何となく惹かれる程度の思いしかなく、タイミングが合えばといった感じで、たまに参加させてもらっていた。でも、参加するたびに会の居心地が自分の波長に合うように感じられ、しかも、参加される皆さんの発言たるや、ぼくには思いつけそうにもないことが多く、それが刺激的に感じられて、何とかして参加し

たいに変わっていった。それでも、これを月に叢雲というのだろうか、読書会当日の日に限って本業の終わりが遅くなって参加叶わない回が多い。11 月 24 日の回も途中からの参加になってしまった。

ところで、この会に参加する前までは、読書会といえば、ぼくには、学生の頃の今風にいえばバイオ系の研究室で毎週行われていた輪番発表スタイルの雑誌会ばかりと思い込んでいた。ようは、学生が当番となって自身が取り組んでいる研究テーマに関連する主に英語論文を探してきてその内容を紹介するのだ。この雑誌会は、2 週間毎に 1 回は発表しなくてはならず、その当時は、ただただ、つらい、逃げ出したい、嫌だ、こんな思いしか浮かんでこないシロモノだった。何せ、一報読むのでさえ字面を追うだけでもいやになるくらいの時間がかかり、それでもボヤーっとしか捉えていないものを格好づけのためにまとめるのだから、その発表を聴く側にしてみれば突っ込みどころ満載。ことばの意味でさえ、質問されると、孫引きまでできていないのだからキチンと答えようもなく、ただただ汗をかくのみ。こんな様子だった。

こんな思い出しかない雑誌会だけれど、今は、調べる、発表する、あるいは議論するこ

とをある程度できるようになるためには、こんなトレーニングも必要だったと思っている。またことばの意味についての重要性に気づかされるととても大切なチャンスだったように思われる。このおかげで、いわゆるテクニカルタームなどは、ちょっとはシリアスに取り扱ようになった。これは、理解し使いこなせないとい食い扶持が得られなくなってしまうからかも知れないが。



でも、むしろテクニカルタームなどより、日常の会話でのことばにこそ、お互いの背景や用いられる場面でそれらをキャッチした意味に違いが生じて当然なのに、66歳になってさえ、そんなことなど全くお構いなしに、自分の発したことばは、それに込めたとおりの意味を相手がキャッチしてくれているという錯覚から抜け出せていない。

しかも、この傾向は例えば夫婦などのように親しいと勝手に思い込んでいる関係での会話に多いようにさえ思われる。初めてお会いする人と会話するときくらいほどにとはいわないまでも、夫婦間ではそれくらいの気遣いや寛容さが薄くなっているのだから、ちょっとした行き違いでお互い嫌な気分を味合うことになってしまうのではなかろうか。他の夫婦はさておいて、ぼくたちは40年近く夫婦をしていてもすべからくこんな調子なので、元気盛りの若者ご夫婦はこんなことは珍しいことではないように想像してしまう。ましてや、コロナのせいで在宅勤務が当たり前になってズーっと夫婦だけでの生活を余儀なくされるとなおさらだろう。まあ、こんなこともお互いを知る上では必要なこととも思うが、もしかするとこれって夫婦である限り続くようにも思う。ぼくたちは、今でもお互いの違いに初めて気づくことがオヤオヤと思うほどあって、それはそれで新鮮なのである。



さて、途中から参加した今回の読書会の話題は次の4つであった。1. 日本性科学会の調査「日本の中高年の性」から 2. コロナ離婚回避する夫婦が実践する3つの会話、「離婚」という結末になる前に…知っておきたい夫婦の危険信号 3. NHK 夜の連続テレビ「阿佐ヶ谷姉妹ののほほん二人暮らし」 4. 寂聴さんの 残された言葉から、つまり、愛とは？

ぼくは、寂聴さんの話題辺りから参加した。期待通り、この回もことばの意味に臆することなくほどよい気遣いや寛容さをもって自分の思いを発する語らいの場であった。この話題では、寂聴さんの生きざま的なこと、それに加えて、性愛のことにまで踏み込んだ語らいが行われていた。発言者は、性愛の効用についてウィットにとんだご自身の捉え方、あるいは、ご自身のパートナーとの関係について、新鮮な切り口で、てらうことなく語っていらっしやったのがとても印象的だった。寂聴さんのことはそれまで出家した女性作家くらいのことしか知らなかったのだが、その後、少しずつ調べ始めている。

(副理事長 上脇貴)

<オンライン読書会はいかがでしょう？>

阿佐ヶ谷の洒落たお店でのお茶🍵は、しばらくおあずけですが、
長谷川理事長のご講義が画面から溢れてくるオンタイムのセミナーもま
夫婦生活につまずいている方はもちろん？円満な方やおひといさまのお知
ながら、おんなとおとこが添い遂げる工夫を、家族カウンセリングの視点か
ましよう。協会員なら、どなたでもこのオンライン読書会にご参加できます。



★次回は第32回 12月28日(水) 20:30 ZOOM開催です。

毎回 理事長ご提案のテーマで話し合います。<今回は忘年会も兼ねています>
会員の皆さま、奮ってご参加くださいね！

<会員限定>

オンライン読書会（ZOOM）に参加ご希望の方は➡の
QRコードに（森友ラインあて）、お手持ちのスマホで
カメラをかざして繋いでください。



「参加できる阿佐ヶ谷婦人公論読書会」グループラインに招待させていただきます。

★今後の阿佐ヶ谷のカフェでの読書会は本協会の対応に準じて開催していく予定です。
しばらくはオンラインを使って読書会を継続していきます。
何卒、ご理解、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。